

海津市まちづくり委員会「第1回ふるさと定住促進検討分科会」会議録

開催年月日 平成21年7月9日(木)  
開催場所 海津総合福祉会館ひまわり2階「研修室」  
分科会委員定数 14名  
開 会 午後7時  
閉 会 午後9時  
出席者 ○分科会委員  
岐阜経済大学経済学部教授 池 永 輝 之  
公募市民 村 上 碩 也  
公募市民 古 川 義 弘  
公募市民 本 多 高 洲  
公募市民 藤 田 繁 己  
公募市民(岐阜県コミュニティ診断士) 堀 田 義 郎  
公募市民(岐阜県コミュニティ診断士) 坂 本 由 貴  
公募市民(岐阜県コミュニティ診断士) 加 々 本 紘 一  
公募市民(岐阜県コミュニティ診断士) 柴 田 夕 子  
公募市民(岐阜県コミュニティ診断士) 伊 藤 祥 子  
女性人材リスト登録者 安 部 晶 子  
女性人材リスト登録者 石 川 晴 代  
高須生活学校代表 加 藤 佳 余 子  
海津市自治連合会代表 諏 訪 薫  
  
○副市長 水 谷 敏 行  
○事務局 企画部 部長 横 井 五 月  
          企画政策課 課長 木 村 元 康  
                  " 係長 後 藤 政 樹  
                  " 主任 毛 利 卓 司

会議次第  
1. あいさつ  
2. 委嘱状交付  
3. 自己紹介  
4. 概要説明  
    (1) 海津市まちづくり委員会について <資料1>  
    (2) ふるさと定住促進検討分科会について <資料2>  
5. 海津市における人口減少の現状について  
    説明：岐阜県 総合企画部総合政策課 清水主査  
          西濃振興局産業労働課 間宮主査  
6. 講評  
7. 分科会長・副分科会長の選出  
8. 閉会

会議録（要約）

事務局	<p>ただいまから海津市まちづくり委員会「ふるさと定住促進検討分科会」第1回目の会議を開催させていただきます。</p> <p>この会議については、委員の皆様から特に申し出がない限り、市報やホームページでの掲載、マスコミへの情報提供などさせていただきたいと存じますがよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ご了承いただいたものと判断いたします。 はじめに水谷副市長よりあいさつを申し上げます。</p>
副市長	<p>(あいさつ)</p>
事務局	<p>続きまして皆様方に委員の委嘱をさせていただきます。</p> <p>(委嘱状交付)</p> <p>続きまして、自己紹介をお願いします。池永先生から順番にお願いしたいと思います。池永先生におかれましては、岐阜経済大学へ本分科会のアドバイザーとしてご依頼申し上げ、専門的見地から様々なご意見、ご提言をいただくこととなっております。よろしくをお願いします。</p>
各委員	<p>(自己紹介)</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、概要説明に移りたいと思います。「(1) 海津市まちづくり委員会について」、「(2) ふるさと定住促進検討分科会の検討事項について」担当よりご説明させていただきます。</p> <p>&lt;事務局説明&gt;</p> <p>ただいま事務局から説明をさせていただきましたが、ご質問ございませんか。</p> <p>(質問なし)</p> <p>質問がないようですので、以上で概要説明は終了させていただきます。</p> <p>続きまして、「海津市における人口減少の現状について」ですが、本日、岐阜県総合政策課、西濃振興局産業労働課の職員様にお越しいただきました。</p> <p>岐阜県では、平成21年度から10年間の県政の方向性を定める「岐阜県長期構想」を取りまとめられました。その策定過程におきまして、海津市の人口減少問題を取り上げ、統計的な分析やフィールドワークなど、海津市の現状を研究されてきておりま</p>

	<p>す。そこで本日は、その研究内容を委員の皆様にお聞きいただき、海津市の現状をより詳しく知っていただくことで、今後の本分科会の取組みに役立てていただければと考えております。それでは、よろしくお願ひします。</p>
岐 阜 県	<p>(総合政策課説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料「海津市における人口減少説明」参照</li> </ul> <p>(質疑応答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海津市の合計特殊出生率は？ ⇒ 厚生労働省推計値 1.28</li> <li>・ 特定の地区ごとのデータは？ ⇒ 要望があれば作成する</li> <li>・ 人口減少が続いているのに世帯が増加しているが？ ⇒ 核家族化や外国人労働者の移動が考えられる。ここ数年が、世帯数増加の境目（ピーク）ではないかと考えられる。</li> <li>・ その他、長期構想関連等の質問</li> </ul>
A 委 員	<p>市民が、まちの人口動向が分かるように、市報の掲載方法なども工夫していただきたい。(意識を持たせるために)</p>
事 務 局	<p>改善できるよう、検討してまいります。 ほかに質問等ございませんか。</p> <p>(質問なし)</p> <p>ご説明ありがとうございました。 それでは、本日の会議を振り返りまして、アドバイザーの池永先生からご講評をいただきたいと思ひます。</p>
池 永 教 授	<p>(講評)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討、議論していくことに対して、共通認識が必要。人口増なのか流出を抑止するのか、住みよいまちづくりなのか、その辺りを詰めていくことが必要。</li> <li>・ 人口流出の抑止などで、県下において取り組み事例等があれば出していただき、勉強会を重ねながら課題を絞り込んでいく。</li> </ul>
事 務 局	<p>ありがとうございました。 続きまして、分科会長・副分科会長を選出していただきたいと思ひますが、いかがさせていただきますでしょうか。</p> <p>(会長・副会長選出) ⇒ 【 会長：藤田繁己 副会長：加々本紘一 】</p> <p>ありがとうございました。 次に、本会議の開催時間につきまして、日中(13:30～15:30)か夜間(19:00～21:00)か、どちらがお出かけいただくのに都合がよろしいでしょうか。</p>

(日中の開催を希望する意見あり)

では、平日の昼間 13:30～15:30 を定時とさせていただきます。

大変長時間にわたりまして、ご協議をいただきまして誠にありがとうございました。  
以上をもちまして海津市まちづくり委員会「第1回ふるさと定住促進検討分科会」を終了いたします。